

# スローテンポ通信

第 57 号

2022 年 6 月 28 日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ◎、『“平和主義とは何か” 考えるヒント 17 冊』から 新着の 2 冊！

### ◎『そこに私が行ってもいいですか？』

イ・グミ 著 神谷丹路 訳

里山社 2022 年 2300 円＋税

☆☆☆☆☆

二人の女性の幼少期から大人になるまでの物語。二人は、貴族の令嬢とその召使という関係から始まった。この本を読めば、韓流ドラマの人気の秘密がわかるだけでなく、何故、韓国の若者は発言するが、日本の若者は発言しなくなったのかまでわかる。

### ◎『普通の人々の戦い』

アンドリュー・ヤン

那須里山舎 2020 年 3200 円＋税

☆☆☆☆☆★★★★

AI 導入と自動化が進めば、雇用が縮小し、格差拡大と社会不安を巻き起こす。米国がかかえるこの現実に対し、ベーシックインカム導入こそが、根本的な解決になると著者は主張する。

だが AI 導入と自動化を求めたのは誰なのか。著者は、肝心なところを隠し幼稚な屁理屈で結論を押し付ける。

この本は、全米ナンバーワンベストセラーの翻訳である。この本から読み取るべきは、著者の主張よりも、むしろ、この手の本がベストセラーになる米国における言論の現実であろう。

### ◎ 本を読まない人の読書会

本を読まない人に、本のよさを知ってもらうための読書会を準備中です！

第1回は7月の予定。朗読を聞いて、話し合いをします。

## 戦争反対を叫ぶだけでは 平和は来ない

小山市議会は、「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致で採択しました。これは当たり前なことだとして、疑問を抱く人はいないことでしょう。小山市に限らず、今、世界中で、ロシアが悪魔で、ウクライナは正義の味方とする空気が支配しています。

「ウクライナを支援せよ！」「ロシア軍をやっつけろ！」と盛んに叫ばれています。それが正義だ、と皆が信じます。

果たして、今ロシアを非難すること、ウクライナを軍事支援することが、平和の実現につながるのでしょうか。

軍事侵攻直後から、ウクライナ大統領は一貫して国民に徹底抗戦を呼びかけています。

子どもと高齢者を除いて、男性の出国を禁止しています。

ウクライナ兵たちは「子どもたちに素晴らしいウクライナを残すために、命をかけて戦うのだ」と言います。

どうしてそんな言葉が出てくるのでしょうか。親の死が子どもにとってよいはずがありません。ウクライナが残っても、残された子どもが素晴らしいと思うのでしょうか。

戦争が長引けば、もっと悲しい現実が待っています。

戦争で家族を失くしたウクライナ人はロシアを憎悪するようになります。

ロシア人にとっても同じです。戦争の長期化は、互いの憎悪をどこまでも増強します。

ロシアとウクライナはお隣り同士です。国境地域では入り混じって国の別なく隣近所仲良く暮らしていました。そんな分け隔てのない仲のよい関係が、将来は期待できなくなります。憎しみ合いの関係が一旦生まれると、それを解消するのは大変なことです。

戦争犠牲者はロシア、ウクライナ双方に、日を迫うごとに増え続けています。

日本は、過去の戦争で、徹底抗戦に突き進むことなく、無条件降伏を選択し

ました。だから、現在の日本があるので。現在は理想の日本とはいえなくてもこれからつくればよいのです。

生き残りさえすれば何でもできます。死んでしまったら終わりです。

だから、ウクライナにおいても、何よりも人が生き残ることが大切です。そのためには即刻停戦です。

頭の固い人たちは、「それは無理だ」と言うでしょう。

しかし、知恵とアイデアを集めれば、予想もしないやり方が出てくるかも知れません。

「何としても停戦だ」と声を挙げ、旗を振るように理解を広め、この差し迫った課題を世界中で確認することが必要です。

一日早ければ、一日分の犠牲者が生き残れます。

頭の固い人たちは、何事も、敵か味方か、善人か悪人かなどの二分法で考えます。それに流されてはいけません。

平和を願う日本人として、平和主義とは何かを世界に先駆けて考えようではありませんか。

スローテンポ書店は、『“平和主義とは何か”考えるヒント 17 冊』を発行しました。

日本は平和主義の国だと漠然と信じてきたけれど、平和主義とは何かを考えることはありませんでした。「平和が大切だ」と唱えるだけで平和がやって来るのではありません。

原点に戻って平和主義とは何かを考えてみましょう。

対立が生まれれば、力ではなく話し合いで解決する。どこかでケンカが始まれば、「暴力反対、話し合いだ」といって仲裁に入る。国家間の戦争も、日常の争いごとと同じです。平和主義とはそこから始まるのです。

平和主義とは誰も否定できない普遍的な考え方です。

さらに深く考えるために、参考となる本を 17 冊選び、短い文章で紹介しています。読めば発見あり、気付きあり、考え方が根本から変わるかもしれません。

どうぞスローテンポ書店で、もっともっと話し合いましょう。

(ブログから抜粋)



本好きが集まる本屋  
本の良さを再発見する本屋

**スローテンポ書店**

小山駅西口 **ロブレ**地階

消毒や換気などの対策をして、  
通常通り営業しております。

どうぞマスクをつけてご来店ください。

オープン: 火~土 13時~19時 (日月祝日休み)

### ☆ 懇話会

どなたも歓迎！ 困りごとをお話してください。既定路線に縛られることなく、課題をさぐり、解決の方法を話し合います。

土曜日 午後 3 時~5 時、参加無料。

### ☆ 伝わる文章教室

文章は最も正確で直球の表現手法です。この講座は、自分を表現する場です。読む人に、伝えたいことがきちんと伝わることを目指します。書店に作品集があります。

木曜日 午後 3 時~5 時。